

News Letter

Vol.5

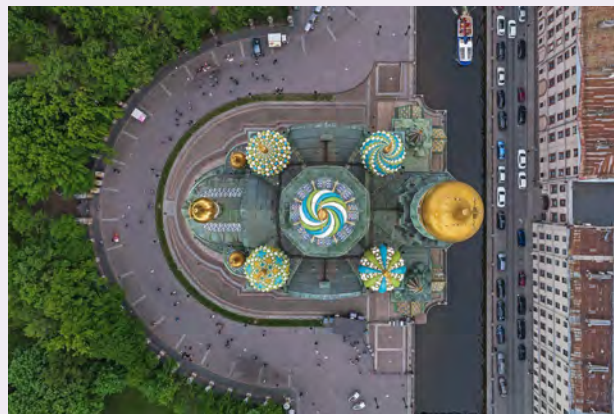
日本宗教研究諸学会連合 2021.5

お知らせ

日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞 第2回 申請募集

多様な宗教研究の振興、若手研究者支援のために、昨年度発足した「日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞」制度は、本年度（第2回）も7月1日～8月14日に募集を行います。本連合参加学会の会員であればどなたでも応募可能です。どうぞ貴学会の会員の皆様に広くお知らせくださいますようお願いいたします。

募集要項と申請フォームを[本連合HP](#)からダウンロードし、メールにて申請する方式です。



Aerial shot of the Church of the Savior on Blood in Saint Petersburg

昨年度の活動報告



- 毎年恒例の日本学術会議哲学委員会主催・日本宗教研究諸学会連合／日本哲学系諸学会連合共催 公開シンポジウムを、昨年度はオンラインにて12月5日に開催いたしました。テーマは「身体・社会・感染症—哲学・倫理学・宗教研究はパンデミックをどう考えるか—」、本連合からは吉水千鶴子副委員長（学術会議哲学委員会副委員長）がコメンテータを務めました。開催後、録画のYouTube配信も行いました。シンポジウムの趣旨、レジュメは本連合HPにてご覧いただけます。本年度のシンポジウムは12月4または5日に「コロナ禍における人間の尊厳」をテーマに開催する予定です。
- 第1回研究奨励賞の予備審査を行い、2グループを合格とし、HPに掲載しました。

日本学術会議会員任命拒否問題

昨秋の、内閣総理大臣による学術会議新規会員任命拒否について、本連合は以下の対応を行いました。会員の皆様のご支援・ご意見を引き続きお待ちしております。

- 速やかに任命を拒否された芦名委員を含む運営委員会を開催し、本連合としての対応を検討した。
- 10月7日に抗議声明を島藺委員長がHPで公表した。
- 11月17日までに19学会（理事会等で）が賛同した。
- 人文社会系学協会連合連絡会に参加し、11月6日に共同声明を公表、島藺委員長が記者会見に出席した。
- 共同声明の英語版を12月2日に公表し、海外の研究者からのメッセージとその和訳を連合HPで公表した。

運営委員会から

貴学会のシンポジウム・パネルを応援します！

貴学会が主催するシンポジウムや学会企画を、本連合から（運営委員会が審議した上で）共催／後援します。事務局にご申請ください。

貴学会の新会員の方々から、「そもそも宗教研究諸学会連合とは何か？」というご質問がありましたら、[本連合HP掲載の説明文](#)をご活用ください。

なお、2020年に開催の予定だったIAHR（国際宗教学宗教史学会）世界大会は中止となりましたが、IAHR Facebookに各国のオンライン・イベント情報が随時掲載され、研究交流が続いています。

発行

日本宗教研究諸学会連合事務局
お問い合わせ先
jfssr20084@gmail.com